					i i		名前	<del>( )</del>			
					1 1		^H III	ıJ			
	2025年度	須磨	学園夙	い中	学校 第	第1回入	、学試	験	解答用	]紙	算数
		2		, ,	, , , , , , ,		(×, 0, )	1 1714	(司 → 司 つ	11 ナル	いけません)
							(*06	かんには、	刊的記	へしては	いりません)
_	(1)	(2)		(3)	1	(4)		(5)			
1		(2)	19	(3)		(4)		(3)			*
	2025		$\frac{15}{40}$		12007		40		56095	m m	/·\
				<b>!</b>							
$\overline{}$	(1)	(2)		(3)	ア	(3)イ					
2			4.1.6		10		2	110			
	138	枚	4.16	%	10 į	重り	2	210	通り		
	(4)	(5)		(6)		(7)					
	169		47		188.4		6				*
		個		度	100.1	cm²		cm²			
-								_			
$\mathbf{z}$	(1)	(2)									
	1.25	倍	50	%							
	/ <del>- \</del>				Sn+ pp 1. + + .	き終わるの	でA, Bの	1時間あた	たりの仕事	量は	
	(3) Aは3時間			引36分= <del>1</del> 5	-時间で水をま						
		15分= <sup>13</sup> 時間 <u>4</u> , <u>5</u> である		引36分= <del>1</del> 3	-時间で水をよ						
	それぞれ	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ $\tilde{c}$ $\tilde{b}$ $\tilde{c}$	) <sub>o</sub>	3				: <u>57</u> である	<b>3</b> 。		
	それぞれ Aが <b>24</b> 分=	4 <sub>13</sub> , <u>5</u> である 13 である <del>2</del> 時間に行っ	う。 った仕事量に	$2 \pm \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$	: <u>8</u> だから残り	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00		ī+>	
	それぞれ Aが24分= AとBが同じ	<u>4</u> , <u>5</u> である 2 時間に行っ 時に水をまく	。 った仕事量に 、ときの仕事	は <u>4</u> × <u>2</u> = 事量は1時	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00		<u>.</u> な	
	それぞれ Aが24分= AとBが同じ	4 <sub>13</sub> , <u>5</u> である 13 である <del>2</del> 時間に行っ	。 った仕事量に 、ときの仕事	は <u>4</u> × <u>2</u> = 事量は1時	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00		Ēts	
	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は <u>57</u> 65	<u>4</u> , <u>5</u> である 2 時間に行っ 時に水をまく	。 った仕事量に 、ときの仕事	は <u>4</u> × <u>2</u> = 事量は1時	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00	るのに必要	<u></u>	*
	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は <u>57</u> 65	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行っ 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時	。 った仕事量に 、ときの仕事	は <u>4</u> × <u>2</u> = 事量は1時	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00		iga 分	*
	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は <u>57</u> 65	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行っ 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時	。 った仕事量に 、ときの仕事	は <u>4</u> × <u>2</u> = 事量は1時	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	00	るのに必要		*
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は <u>57</u> 65	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行っ 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時	う。 った仕事量に こときの仕事 間 = <sup>19</sup> ×60	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0分=76	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> +	の仕事量に	$1 - \frac{8}{65} =$	士事をする	るのに必要		*
4	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は 57 65 よって, 24	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行っ 時に水をまく $\div \frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $+76=100$ 分	が。 かた仕事量に はときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 50	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0 分 = 76	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> + <u>1</u> 分 表面積の比	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	*
4	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は <u>57</u> 65 よって, 24	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行っ 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{1}{15}$ け+76=100 分	う。 った仕事量に くときの仕事 間 = <sup>19</sup> ×60 面積	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0分=76	: <u>8</u> だから残り :間あたり <u>4</u> + 分	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要	分	*
4	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は 57 65 よって, 24	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{1}{13}$ +76=100 分 (1) 配 cm	が。 かた仕事量に はときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 50	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0 分 = 76	: <u>8</u> だから残り 間あたり <u>4</u> + <u>1</u> 分 表面積の比	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	
4	それぞれ Aが24分= AとBが同時間は $\frac{57}{65}$ よって, 24 (1)CF $\frac{25}{9}$	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{1}{13}$ +76=100 分 (1) 配 cm (3) 表	か。 った仕事量に くときの仕事間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 $\frac{50}{27}$	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0 分 = 76	: <u>8</u> だから残り :間あたり <u>4</u> + <u>1</u> 分 表面積の比 Sの表面積:	の仕事量に $\frac{5}{3} = \frac{9}{13}$ だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	*
4	それぞれ Aが24分= AとBが同り時間は57 65 よって,24 (1)CF 25 9	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 持に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{1}{13}$ +76=100 分 (1) 配 cm	か。 った仕事量に くときの仕事間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 $\frac{50}{27}$	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0分=76・	: <u>8</u> だから残り :間あたり <u>4</u> + <u>1</u> 分 表面積の比 Sの表面積:	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	
1	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は 57 65 よって, 24 (1)CF 25 9 (3)EF	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{19}{15}$ け (1) $\frac{1}{13}$ cm (3) $\frac{3}{5}$	か。 った仕事量 $t$ にときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 $\frac{50}{27}$ 表面積	$3 \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} $	: 8/65 だから残り :間あたり 4/13 + 1 分 表面積の比 Sの表面積:	の仕事量に $\frac{5}{3} = \frac{9}{13}$ だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	
4	それぞれ Aが24分= AとBが同り時間は57 65 よって,24 (1)CF 25 9	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{19}{15}$ け (1) $\frac{1}{13}$ cm (3) $\frac{3}{5}$	か。 った仕事量に くときの仕事間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 $\frac{50}{27}$	$3 \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} $	: <u>8</u> だから残り :間あたり <u>4</u> + <u>1</u> 分 表面積の比 Sの表面積:	の仕事量に $\frac{5}{3} = \frac{9}{13}$ だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	
4	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は 57 65 よって, 24 (1)CF 25 9 (3)EF	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{19}{15}$ け (1) $\frac{1}{13}$ cm (3) $\frac{3}{5}$	のた仕事量 $t$ にときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 面積 るいのは	$3 \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} $	: 8/65 だから残り :間あたり 4/13 + 1 分 表面積の比 Sの表面積:	の仕事量に $\frac{5}{3} = \frac{9}{13}$ だか	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	士事をする	3のに必要 100 体積	分	
1	それぞれ Aが24分= AとBが同じ時間は57/65 よって、24  (1)CF 25/9 (3)EF 8	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{19}{15}$ け (1) $\frac{1}{13}$ cm (2) $\frac{3}{5}$ 個	のた仕事量 $t$ にときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 $\frac{50}{27}$ 表面積	$3 \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} \times \frac{4}{13} \times \frac{2}{5} = 3 \times \frac{4}{13} $	: 8/65 だから残り :間あたり 4/13 + 1 分 表面積の比 Sの表面積: 2	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか Tの表面積 cm d		出事をする (2)·	3のに必要 100 体積 160.1	分	
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同 時間は 57/65 よって, 24  (1) CF 25/9  (3) EF 8  (1) 66	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\div \frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $+76=100$ 分  (1) 配  cm (2) 多	のた仕事量 $l$ にときの仕事 間 = $\frac{19}{15} \times 60$ 可積 不可積 不可積 でのは 方のは 方のは 方のは 方のは 方のは 方のは 方のは 方	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 $0$ 分=76 $\frac{1}{2}$ (2) cm (2)	: 8/65 だから残り :間あたり 4/13 + 1 分 表面積の比 Sの表面積: 2 差は 16 17, その個数に	の仕事量( 5 3 = 9 13 だか Tの表面積 cm d は 1, 9, 17,	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の仁	出事をする (2)	3のに必要 100 体積 160.14	分	
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同じ時間は57/65 よって、24  (1)CF 25/9 (3)EF 8  (1) 66  (3) 黒石は1 白石は2周目	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である。 $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまく $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時は+76=100分 (1)面 cm (3)表 cm (2)多個 周目, 3周目, 4周目, 6周目	た仕事量に にときの仕事 間 = $\frac{19}{15}$ × 60 「積 $\frac{50}{27}$ 表面積 5周目,…に並っ	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0分=76  (2) cm (2)  こ並べられて、	: 8 だから残り : 8 だから残り :間あたり 4 + 1 分 表面積の比 Sの表面積: 2 差は 16 れて,その個数は5,	の仕事量( 5 3 = 9 1 だか Tの表面積 cm <sup>2</sup> は 1, 9, 17, 113, 21, … と	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の作	世事をする (2)・ えていく(	3のに必要 100 体積 160.14	分	
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同に時間は57/65 よって、24  (1)CF 25/9 (3)EF 8  (1) 66 (3) 黒石は1 白石は2周目 各周の最後ま	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ である $\frac{2}{5}$ 時間に行う 時に水をまい $\frac{9}{13} = \frac{19}{15}$ 時 $\frac{19}{15}$ 中 $\frac{19}{15}$ 日 $\frac{19}{1$	た。 たとき $\frac{19}{15}$ ×60 「間 $\frac{50}{27}$ 表面 表面 は 白 に き の は 白 に き の は 白 に き	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 0分=76 (2) cm (2) こ並べられて、 具石と白石	<ul> <li>8 だから残り</li> <li>1</li></ul>	の仕事量に 5 3 = 9 だか Tの表面積 cm d は 1, 9, 17, 113, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9,	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の作	世事をする (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	3のに必要 100 体積 160.14	分 4 cm³	
4	それぞれ Aが24分= AとBが同に時間は57/65 よって、24  (1)CF 25/9 (3)EF 8  (1) 66  (3) 黒石は1 白石は2周目 各周の番目をお	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ (1) である $\frac{2}{5}$ 時間に行う は $\frac{2}{5}$ 時間に行う は $\frac{9}{13}$ = $\frac{19}{15}$ 分 (1) で $\frac{1}{5}$ (2) 多 個 周目, 3周目, 6周になると 1, 5, 9,	た仕事量に った仕事量に では には のは のは 方間 = $\frac{19}{15}$ × 60 でである。 でである。 でである。 でである。 でのは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 $0$ 分 = $76$ (2) cm (2)	<ul> <li>: 8/65 だから残り</li> <li>: 8/65 だから残り</li> <li>: 10 おより 4/13 + 1/1</li> <li>: 11 おより 4/13 + 1/1</li> <li>: 12 まは</li> <li>2 まは</li> <li>16 なり、その個数のはまり、こののできるのです。</li> <li>: 10 なりのできるのです。</li> </ul>	の仕事量に 5 3 = 9 1 だか Tの表面積 cm <sup>2</sup> は 1, 9, 17, 13, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9, 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の作	立 士事をする (2) なていく( こ こ こ た と な よ で い っ て い っ て い っ て い っ て い っ て っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ 、 っ 、	3のに必要 100 体積 160.14 いき, のいる。 こい増えてい	分 4 cm³	
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同時 時間は57/65 よって、24 (1)CF 25/9 (3)EF 8 (1) 66 (3) 黒石は1 白石周の最もまる。 29 = 1 + 4×	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ に に $\frac{1}{13}$ に	た仕事量に った仕事量に では には のは のは 方間 = $\frac{19}{15}$ × 60 でである。 でである。 でである。 でである。 でのは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	は $\frac{4}{13} \times \frac{2}{5} =$ 事量は1時 $0$ 分 = $76$ (2) cm (2)	<ul> <li>8 だから残り</li> <li>1</li></ul>	の仕事量に 5 3 = 9 1 だか Tの表面積 cm <sup>2</sup> は 1, 9, 17, 13, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9, 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の作	立 士事をする (2) なていく( こ こ こ た と な よ で い っ て い っ て い っ て い っ て い っ て っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ て っ っ 、 っ 、	3のに必要 100 体積 160.14 いき, のいる。 こい増えてい	分 4 cm³	
4	それぞれ Aが24分= AとBが同に時には 57/65 よって、24  (1) CF 25/9  (3) EF 8  (1) 66  (3) 日本の番目はは 1日本の番目はは 2月できる。 29 = 1 + 4 × と 20 × 20 × 20 × 20 × 20 × 20 × 20 ×	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ に $\frac{5}{13}$ に $\frac{1}{13}$ に $$	た。 たとき 19 x 60 可様 50 27 両様 50 27 両様 13,…と にのとなる。 13,00 にか となる。 13,00 にか となる。	は 4 13 × 2 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	<ul> <li>: 8/65 だから残り</li> <li>: 8/65 だから残り</li> <li>: 10 おより 4/13 + 1/1</li> <li>: 11 おより 4/13 + 1/1</li> <li>: 12 まは</li> <li>2 まは</li> <li>16 なり、その個数のはまり、こののできるのです。</li> <li>: 10 なりのできるのです。</li> </ul>	の仕事量に 5 3 = 9 13 だか 表面積 で㎡ 個 は 1, 9, 17, 13, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11,	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	世事をする (2) (2) (2) (2) (2) (3)	3のに必要 100 体積 160.14 いき, のいる。 こい増えてい	分 4 cm³	
<b>4</b>	それぞれ Aが24分= AとBが同に時には 57/65 よって、24  (1) CF 25/9  (3) EF 8  (1) 66  (3) 日本の番目はは 1日本の番目はは 2月できる。 29 = 1 + 4 × と 20 × 20 × 20 × 20 × 20 × 20 × 20 ×	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ 時 $\frac{2}{5}$ 時 $\frac{5}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ に $1$	た。 かたときの はきの ではきの ではきの ではできる。 ではないののはできる。 ではない。	は 4 13 × 2 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	: 8/65 だから残り         : 10 たり 4/13 + 1         : 11 お たり 4/13 + 1         : 11 お たり 4/13 + 1         会 の 表面積 : 1         2         差は 16         こて、個数のに 3         これの 3         これの 4         これの 4         これの 5         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 7         これの 6         これの 7         これの 7         これの 8         これの 8         これの 9         これの	の仕事量に 5 3 = 9 13 だか 表面積 で㎡ 個 は 1, 9, 17, 13, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11,	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の作 $28$ ずつ増え  12, 13, … 4, 8, 12, … 3 8+7=15(	世事をする (2) (2) (2) (2) (2) (3)	100 体積 160.14 さ, でいるえてい	分 4 cm³	*
4 5	それぞれ Aが24分= AとBが同に 時は57 65 よって、24 (1)CF (3)EF 8 (1) 66 (3) 石周数 目もまる。 29 = 1 + 4 × とここと	$\frac{4}{13}$ , $\frac{5}{13}$ 時 $\frac{2}{5}$ 時 $\frac{5}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ 間 $\frac{1}{13}$ に $1$	た。 かたときの はきの ではきの ではきの ではできる。 ではないののはできる。 ではない。	は 4 13 × 2 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	: 8/65 だから残り         : 10 たり 4/13 + 1         : 11 お たり 4/13 + 1         : 11 お たり 4/13 + 1         会 の 表面積 : 1         2         差は 16         こて、個数のに 3         これの 3         これの 4         これの 4         これの 5         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 6         これの 7         これの 6         これの 7         これの 7         これの 8         これの 8         これの 9         これの	の仕事量に 5 3 = 9 13 だか 表面積 で㎡ 個 は 1, 9, 17, 13, 21, … と 1, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 4, 5, 8, 9, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11,	は $1 - \frac{8}{65} =$ から $\frac{57}{65}$ の任	世事をする (2) (2) (2) (2) (2) (3)	3のに必要 100 体積 160.14 いき, のいもえてい	分 4 cm³	